

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2021年2月12日、株式会社キャンパスは2021年6月期第2四半期決算を発表した。

四半期業績推移 (累計) (百万円)	19年6月期				20年6月期				21年6月期	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q
事業収益	33	61	88	116	28	55	83	110	28	55
YoY	20.0%	10.0%	6.7%	5.0%	-16.7%	-9.1%	-6.3%	-4.8%	0.0%	0.0%
研究開発費	164	190	356	444	110	197	304	442	184	269
YoY	63.4%	-8.0%	14.1%	4.9%	-32.9%	3.7%	-14.8%	-0.4%	67.2%	36.3%
売上高研究開発費比率	494.0%	312.2%	404.5%	384.3%	397.7%	356.2%	367.7%	402.0%	664.8%	485.5%
販管費	56	106	154	205	62	126	178	235	53	115
YoY	-3.8%	-9.1%	-10.8%	-9.5%	10.2%	18.2%	15.0%	14.7%	-13.7%	-8.6%
売上高販管費比率	169.0%	174.5%	175.3%	177.0%	223.5%	227.0%	215.1%	213.3%	192.9%	207.4%
営業利益	-187	-236	-423	-533	-144	-268	-399	-567	-210	-329
YoY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益	-190	-237	-424	-535	-145	-271	-404	-574	-211	-330
YoY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益	-110	-158	-345	-456	-145	-272	-405	-573	-211	-310
YoY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期業績推移 (3ヵ月) (百万円)	19年6月期				20年6月期				21年6月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
事業収益	33	28	27	27	28	28	27	27	28	28
YoY	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
研究開発費	164	26	166	88	110	87	106	139	184	85
YoY	63.4%	-75.5%	57.6%	-21.1%	-32.9%	234.3%	-36.1%	58.3%	67.2%	-2.6%
売上高研究開発費比率	494.0%	94.1%	612.1%	319.3%	397.7%	314.6%	391.2%	505.4%	664.8%	306.3%
販管費	56	50	48	50	62	64	52	57	53	62
YoY	-3.8%	-14.4%	-14.4%	-5.1%	10.2%	27.2%	7.9%	13.7%	-13.7%	-3.7%
売上高販管費比率	169.0%	181.1%	177.0%	182.6%	223.5%	230.5%	190.9%	207.7%	192.9%	222.0%
営業利益	-187	-49	-187	-110	-144	-123	-131	-168	-210	-119
YoY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益	-190	-47	-188	-111	-145	-127	-133	-170	-211	-120
YoY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益	-110	-48	-188	-111	-145	-127	-133	-168	-211	-100
YoY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：同社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意

2021年6月期第2四半期実績

業績概要：

2021年6月期第2四半期の事業収益は前年同期比横ばいの55百万円、営業損失は同61百万円損失増の329百万円、経常損失は同59百万円損失増の330百万円、四半期純損失は同38百万円損失増の310百万円となった。

研究開発費は、前年比72百万円増の269百万円となった。販売費および一般管理費は、同11百万円減の115百万円となった。営業外収益には為替差益31百万円、営業外費用に転換社債型新株予約権付社債にかかる支払利息4百万円、株式交付費1百万円を計上している。

創薬パイプラインの動向

CBP501は、同社の開発パイプラインの中で最も先行している。非小細胞肺癌（扁平上皮癌を除く）および悪性胸膜中皮腫を対象とした臨床第2相試験を過去に終了し、当該臨床試験のデータの詳細解析から、「癌微小環境」「癌免疫」「癌幹細胞」などに関わるCBP501の多様な作用が解明されてきた。この地検は、後続パイプラインとなる新規候補化合物の創出・探索のみならず、現在進めている臨床第1b相試験（フェーズ1b試験）にも活かされている。

CBP501に関しては、次相以降の開発にかかる提携パートナーの確保を目指した活動も積極的に展開しているが、2020年6月期中の提携パートナーの確保には至らなかった。

現在同社では、CBP501と細胞障害性抗癌剤シスプラチン・免疫チェックポイント阻害抗体ニボルマブの併用による新たな臨床試験（フェーズ1b試験）を進めており、現在、後半部分である拡大相（対象：膵臓癌・直腸大腸癌）の組み入れを終えた最終段階にある。同社は、この経過および結果によって提携パートナー獲得の可能性を高める考えである。

CBS9106は、提携パートナーである米国 Stemline社が、進行固形癌患者を対象とし主に安全性の評価を目的とした臨床第1相試験を進めている。同社は、2021年6月期第2四半期累計期間において、技術アドバイザリーフィー55百万円を事業収益として計上している。

さらに同社は、これら2つの候補化合物の後続パイプラインとなる新規候補化合物の探索・創出に向けて、独自の薬剤スクリーニング法による探索研究と、CBP501に関する新たな知見を基にした「次世代CBPプロジェクト」からの創出に取り組み、候補化合物CBP-A08を獲得している。また、静岡県立大学との共同研究により、IDO/TDO阻害剤など、新規候補化合物の創出・開発パイプラインの拡充に向けて、探索研究を実施している。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp